

公益社団法人

山形法人会 ニュース

かみかみは
花をばらして
平築あつち水た
木石し喰いあ
冷たがすい
せとせあんなあ
ふすとの境ノは
"3/10 10:00"...



かみかみのあつち水た
はあつち水た
根をばらして
えすすあつち
あつち水た
ふすとの境ノは
10:00
あつち水た

K. M. M. M.
あつち水た

山形県高橋地区

4

vol.495
April 2024



<https://hojinkai.zenkokuhojinkai.or.jp/yamagata/>

山形法人会 検索

第16回 小学生税に関する絵はがきコンクール 山形税務署長賞 表彰状贈呈

山形市立第五小学校 6年 神保 柚希さん

全国の法人会女性部会が租税教育の一環として取組んでいる小学校6年生を対象とした「小学生税に関する絵はがきコンクール」が、今年度も実施され、管内から25校684名の応募がありました。

厳正な審査会を経て、山形法人会 優秀賞28点、女性部会長賞5点、青年部会長賞5点、また特別賞として山形税務署長賞、審査員特別賞各1点が選ばれました。

ご受賞おめでとうございます。

去る2月29日(木)には、山形税務署長賞の贈呈式が行われ、佐藤秀春山形税務署長が山形市立第五小学校(花輪千秋校長)を訪れ、受賞した神保柚希さんへ表彰状並びに副賞を贈呈いたしました。

神保さんの作品は「税金は明るい未来へつながる希望の光」というフレーズが学校や道路、教科書の絵とともに表現された素晴らしい絵はがきです。

税金が「明るい未来へつながる希望の光」になるような使われ方をしているか、これからも関心を持ち続けてほしいと思います。

※入賞作品は、毎号会報の8ページでご紹介していきます。



(左)佐藤秀春署長 (中央)神保柚希さん (右)花輪千秋校長

もっと
素敵に!
カーライフ



山形トヨタ

<https://ytj.jp>

本社/山形市南一番町11-16

各店舗の情報は

QRコードを

Check!!



山形税務署からのお知らせ

給与支払者向け定額減税説明会のご案内（令和6年4月開催分）

税務署では給与支払者向け定額減税説明会を開催しています！

会場の収容人数の都合上、事前申込制で開催しています。参加をご希望の場合は、国税庁LINE公式アカウントから事前申込をお願いいたします。

事前申込(国税庁LINE公式アカウント)はこちら ⇒



○「説明会」の開催日時等（事前予約制）

説明会開催日時		定員	会場
4月11日(木)	10:00~11:00	各120名	山形市総合 スポーツセンター 大会議室 (山形市落合町1番地)
	14:00~15:00		
4月18日(木)	10:00~11:00		
	14:00~15:00		
4月25日(木)	10:00~11:00		
	14:00~15:00		

説明会には国税庁から送付したパンフレット「給与等の源泉徴収事務に係る令和6年分所得税の定額減税のしかた」をご持参ください。

お手元がない場合は、定額減税特設サイトに送付したパンフレットを掲載しておりますので、事前にダウンロードし、ご準備ください。

定額減税特設サイトはこちら ⇒



【連絡先】山形税務署 法人課税第二部門 電話 023-622-1611（代表）

※お電話の際は、音声ガイダンスに沿って『2』を選択してください。

- ・新型コロナウイルス感染状況により中止する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・感染防止の観点から、咳や発熱等の症状がある方や、体調のすぐれない方のご来場はご遠慮いただいています。

会議やお子様のイベント、ご法要など用途に合わせてご用意いたします。



- ・配達可能エリア：山形市
- ・配達可能時間：11:00~17:00
- ・お電話のみの受付となります
- ・お渡し日の3日前までにご予約ください
- ・一か所5個以上からご予約いただけます

ホテルの味をもっと身近に。

山形七日町ワシントンホテル

0120-881-880

写真はイメージです

SUKSK事業所登録しませんか?

全法連青連協では「税の使途」に対する問題意識の高まりに伴い、「財政健全化のための健康経営プロジェクト～日本の未来を担う子供たちのために～」と題する報告書を取りまとめしております。山形法人会青年部会でも「健康経営大賞」の開催年度である2021年に単位会部門にエントリーを行い、昨年開催されました「第37回法人会全国青年の集い山形大会」においては、全国各地の単位会、企業の健康経営に対する活動が報告されました。

山形市では健康医療先進都市を掲げ、「SUKSK(スクスク)」という独自の事業を行っており、厚生労働省が主催する「第12回健康寿命をのばそう!アワード」で生活習慣病予防部門の最優秀賞を受賞しました。

「SUKSK」事業に事業所登録をして健康に向けた活動をスタートしてみませんか。

SUKSK事業所登録しませんか?

事業所登録をすると、山形市民以外の従業員、もSUKSKに登録できます。※山形市外に住所があり健康事業所に属している方
事業所登録の詳細はチラシをご覧ください。



累計登録者数
13,000人突破
年平均成長率
45%



累計事業所登録数
令和元年度 **23**
↓
令和6年3月 **80**

厚生労働省等が主催する第12回「健康寿命をのばそう!アワード」において、全国の企業や団体の応募の中から、山形市のSUKSKの取組が最優秀賞をいただきました。

みんなで目指そう
健康医療先進都市



Z世代の価値観と若手採用で大切なこと

株式会社ジェイック 取締役 古庄 拓

コロナ禍の終わりとともに企業の採用熱は急激に高まり、新卒・中途共に「売り手市場」が加速している。中小企業が若手採用を成功させるためには、採用対象である「今どきの若者」の価値観を知る必要がある。Z世代と呼ばれる新卒および若手の仕事に対する価値観を紹介する。価値観の傾向を知った上でコミュニケーションを取ることが大切だ。

キャリア安全性の重視と早期のキャリア形成志向

終身雇用の崩壊後に育ったZ世代は、会社に依存する働き方はリスクがあると考えている。労働環境はホワイトだが成長できない企業を示す「ゆるブラック」という言葉が定着した通り、自己成長や市場価値の向上を強く意識している。早期にキャリア形成したいという思いが強く、同時に成長できない会社は早く見切って転職した方がよいと考える傾向にある。

若手・第二新卒の採用に取り組むうえではキャリアの安全性、つまり「この会社で働くことで成長できる」「スキルや市場価値が身に付く」などの成長可能性を明確に伝えることが大切だ。優秀層ほどキャリア形成に強い意欲を持っており、どのような成長が実現するか、どのようなキャリアを築けるのかを具体的に示すことが重要だ。

タイムパフォーマンスとワークライフバランス

Z世代の若者は早期にキャリア形成したいと考える一方で、仕事中心の人生は過ごしたくないと考えている。物質的に充足した環境で育ったZ世代は、働き方改革の影響もあり、ワークライフバランスを大切にしたいと思っており、残業が多かったり、休日出勤を強いられたいりする職場には強い抵抗感を示す。

Z世代の若者が好きな言葉に「タイパ（タイムパフォーマンス）」がある。投下する時間や労力に対して効率よく成果を得たいという願望が反映されたもので、仕事に対する価値観に通じるものがある。Z世代は、無我夢中に泥臭く働いてトップを目指したいのではなく、効率よくスマートに働いてほどほどの結果を得たいと考える傾向がある。

現実を分かっていないと思うかもしれないが、若手・第二新卒の採用を成功させ、定着・活躍させる上では、こうした価値観を踏まえて「ワークライフバランスを実現できる」「市場で評価されるキャリア、または職に困らない能力が身に付く」と示すことが必要だ。

ブラック企業への警戒心

最近「ブラック企業」という言葉を耳にすることは減ったが、Z世代にはブラック企業を選んでしまうことへの恐怖心が根強くある。最近、求人における「未経験者歓迎」「アットホームな職場」「頑張った分だけ成長できる」といった抽象的で聞こえの良い言葉は、ブラック企業が使う言葉として非常に警戒される。求人や会社説明会、面接では抽象的な言葉を安易に使うのではなく、実際の働き方や制度、事例をしっかりと伝えることがポイントになる。

見栄えが良い表面的な情報だけが発信されていることへの警戒心も強いので、X（旧ツイッター）などの無料かつ手軽に使えるSNSを活用して、社長や働く社員の顔が見える、手触り感のある情報発信をしていくことも、若手採用を成功させる上で効果的だ。

筆者紹介

古庄 拓（ふるしょう・たく）1983年生まれ。慶應義塾大学卒業後、株式会社ジェイックに入社。中小企業・ベンチャー企業を対象とした社員研修や採用支援の提案・企画、管理職養成プログラムの事業化、新卒メディアの立ち上げ等を経て、同社取締役。人材育成や採用支援の知識・ノウハウを発信している。



「ダイバーシティ ~Diversity~」とは、「多様性」という意味であり、性別、年齢、人種、文化、宗教、国籍、言語、障がいの有無などを、個性や価値観の違いと捉え、包摂する「インクルージョン」の理念が基礎となります。

地域に根ざしたケーブルテレビをベースとしながら、インターネットサービスやSNS、映画、スポーツ、音楽などを通じて山形から全国、世界へと情報を発信してまいります。

お問合せ 株式会社ダイバーシテイメディア (旧 株式会社ケーブルテレビ山形) 〒990-0025 山形県山形市あこや町 1-2-4 TEL 023-624-5000 FAX 023-624-5100

令和五年度 高校生の税に関する作文コンクール

国税庁主催の「高校生の税に関する作文コンクール」が今年度も開催されました。将来を担う高校生の皆さんが、税をテーマとして税について考えたことを作文に書くことを通じて、税に関する心を持っていただき、正しい理解を深めていただくことを目的とし実施しているものです。

「公益社団法人山形法人会会長賞」の受賞者の作品をご紹介します。

未来への「投資」

公益社団法人山形法人会 会長賞
 日本大学山形高等学校 一年 山之内 咲 月さん

「税金」と言えば、十代の私達にとってはマイナスイメージが大きいのではないだろうか。「消費税なんてなければいいのに……」。そう思ったことは誰にでもあるはず。実際、千円のものを買ったとしても、払うのは千円。百円の損失は大きい。「税金なんて」と、思うことも少なくない。

私達は、「税金の使い道」と聞かれていくつ答えることができるだろうか。道路や住宅を整備する公共事業費、国の防衛のための防衛費、国債の返済や利子の国債費……どれも身近ではない。本当にこんなに税金とる必要があるのか、そう思ってしまうほど私達は税金について知らないのだ。

知らないもの、分からないことにお金を費やすのは、誰だって嫌だろう。「税金に払うのが無駄」そう思ってしまうのも知識が浸透していないからだ。しかし私達は実際にお金を捨てているのではない。私達がしていることは、明日の自分たちの生活への投資なのだ。

今月払った所得税はいくらなのか。消費税はなぜ引き上げられたのか。私達は自分達が払った税金に

ばかり目を向けすぎている。それだから、税金の恩恵も、税金を納めることの本質も忘れてしまう。税金の使い道はなにか、と聞いたら、中学生も高校生も、きつと同じように答えるだろう。みんな分かっているのだ。きつと税金を自分事として考えられないだけなのだ。

私達が歩く道は、でこぼこな土や石だらけの道ではない。平らで、真っ直ぐできれいな道だ。ケガや病気をした時、頼ることのできる病院がある。緊急時には警察、救急車、消防車だっつけつけてくれる。明日が暮らしやすいものでありますように。誰かが苦しい思いをしませんように。そんな願いが税金にはこめられている。

税金は未来への「投資」だと言った。投資とは本来、お金を得るため、つまり利益を増やすためにやるものだ。税金も同じだ。未来が明るくなり、幸せな人が増えること。それが私達にとっての利益であり、納税をする意味であると思う。

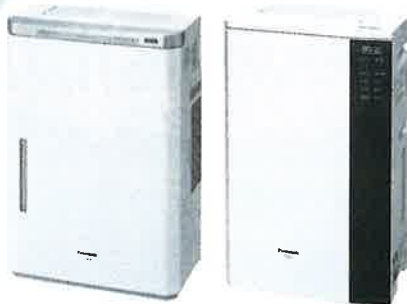
誰かのために納税を気持ちよくできる人にあふれた、そんな優しい国になることを願う。

ウイルス・ニオイ対策に!

次亜塩素酸 空間除菌脱臭機

ziaino

ジアイーノ



次亜塩素酸による空気清浄 (気液接触方式)

食塩水を電気分解することで次亜塩素酸(電解水)を生成。その次亜塩素酸(電解水)を含浸したフィルターに汚れた空気を通わせる「気液接触方式」で汚れた空気を除菌・脱臭します。また、揮発した次亜塩素酸が付着菌を抑制します。

詳しくはこちら▶



総会記念講演会のご案内

電話かFAXでお申込みください。(TEL 023-632-7852 FAX 023-632-5787)

総会記念講演会



100年時代を「私らしく」心地よく生きるためのヒント

期日 令和6年5月24日(金)

時間 15:00~16:30

会場 パレスグランデール

講師 産婦人科医 医学博士 産業医

高尾美穂氏

NHK「あさイチ」でおなじみ

プロフィール

女性のための統合ヘルスクリニック「イーク表参道」副院長。働く女性の産業医として内閣府男女共同参画局・人事局などで職員研修を担当。

長年ヨガを愛好し、多くのヨガインストラクターを指導。YouTube「高尾美穂からのリアルボイス」では、毎日、女性のお悩みに答え、楽に生きられる考え方を配信している。

青年部会総会記念講演会

中小企業の稼ぐ力と自己変革力の向上

～中小企業金融の最新動向と政府の施策～

期日 令和6年4月16日(火)

時間 15:30~17:00

会場 ホテルメトロポリタン山形

講師 一般社団法人 日本人材育成協会 会長

森 俊彦氏



プロフィール

東京大学卒、日本銀行入行、金沢支店長、金融機構局審議役を経て金融高度化センター長。現在、中小機構「中小企業応援士選定委員会」委員長、足利銀行取締役、西尾信用金庫理事、住友生命社外委員、マネジメントパートナーズ経営顧問を兼務。

【政府委員・座長】

内閣府、経済産業省、中小企業庁、環境省等

女性部会総会記念講演会

「山が私を形作った」

～教育者としての視点に山伏の思想を～

期日 令和6年4月24日(水)

時間 13:30~14:30

会場 ホテルメトロポリタン山形

講師 東北公益文科大学 助教/羽黒山伏

バンディング・ティモシー氏



プロフィール

ニュージーランド出身、酒田市在住。2010年ALTとして来日し、赴任先である庄内町で山伏の精神文化と出会う。2015年からは東北公益文化大学で英語を教えながら、外国人向けの山伏修行体験プログラムの作成や、SNSで出羽三山の魅力などを外国人旅行者目線で紹介している。2017年、修行を経て公式に「山伏」として認定された。

ヤマガタヲ オモシロク

期間限定第4弾

メン愛好家 ラーメンガチャ 第5弾 4/27スタート

山形市の「ラーメン愛」を強力に後押しする ラーメンガチャ第4弾実施中 期間中何度でも使える 特典付「メン」手形が当たる!

カブセル・目薬・ 精肉がたっぷり入った 味噌もチェック

Okage OKAGE CORPORATION 山形市殿王松ヶ丘一丁目2番地6 TEL.023-689-1111

gatta!

創刊20周年を迎えます

2004年9月5日に大風印刷から創刊されたフリーマガジン「gatta!」は今年

山形県内・近県を毎月5日に4,500部発行!

gatta!web

WEBでも読んでお楽しみいただけます

QRコードで「gatta!」や最新タイアップ企画などの情報をリアルタイムでチェックしてください

第16回 小学生税に関する 絵はがきコンクール受賞作品

山形法人会 優秀賞

県内の女性部会では、小学生への租税教育活動として、小学6年生を対象に「税に関する絵はがきコンクール」を実施しています。今回は山形県内135校から、3,866枚のご応募をいただきました。各賞を受賞した管内の作品を順次紹介していきます。



山形市立第二小学校
和田 実桜さん



山形市立第一小学校
豊田 百那さん



山形市立東沢小学校
古瀬 莉愛さん



法人会の経営者大型総合保障制度

広げよう
企業保障の
大きな傘を

法人会の「経営者大型総合保障制度」は
1971年に創設されました。
想いをつないで50年。
これからも会員みなさまと共に歩み、
企業保障の大きな傘で
会員みなさまをお守りしてまいります。

DAIDO 大同生命保険株式会社
山形支社/
山形県山形市諏訪町1-1-1(センチュリープレイス山形4F)
TEL 023-641-2852

AIG AIG損害保険株式会社
山形支店/
山形県山形市七日町3-5-20(富士火災山形ビル3F)
TEL 023-622-4322



発行 公益社団法人山形法人会 編集 広報委員会

〒990-0031 山形市十日町1-2-30 D'グラフィート十日町タワー203 TEL023-632-7852(代) FAX023-632-5787